



そよ風

2017年
No. 109

横浜市港北国際交流ラウンジ KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

第17回 ワクワクまつり 特集号

入場者数 昨年を上回る 1,295名

港北国際交流ラウンジと大豆戸地域ケアプラザ共催による第17回ワクワクまつりが、10月8日に開催されました。天気にも恵まれ、多くの皆さんに来ていただきました。

年度	入場者数	日本人			外国人		
		男	女	計	男	女	計
2017	1295	441	728	1169	59	67	126
2016	1232	430	707	1137	46	49	95
2015	1278	334	723	1057	79	142	221

永年活動者表彰

表彰されたのは次の7名の方々です。(敬称略)
宇井野 直、荻井 真利子、尾崎 みずみ、加藤 陽子、
小林 裕子、清水 孝義、額田 多雄

10年にわたり地道なボランティア活動を継続してくださった皆様には感謝状と記念品が贈呈されました。本年は感謝状に横山日出夫 港北区長もお名前を連ねてください、また受賞者に直接感謝状を渡ししてくださいました。受賞者の皆様のスピーチは いずれも感慨深いものでした。清水さんはかつての教え子からの絵葉書を数枚披露してくださいましたが、この時横山区長は大きくうなずいておられたのが印象的でした。



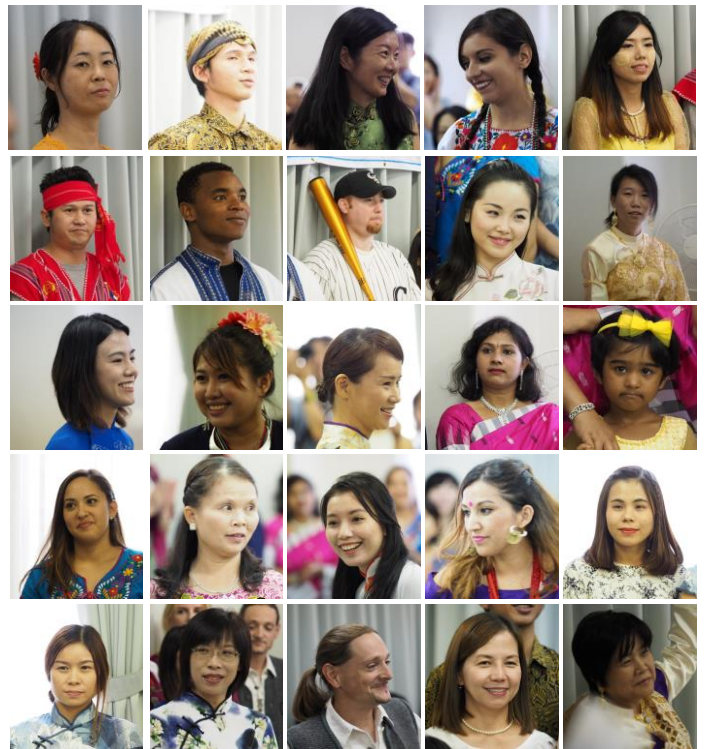
横山区長



左から、志賀理事長、小林さん、宇井野さん、横山区長、清水さん、荻井さん
ほかの皆さんは表彰式には欠席でした。

恒例の人気イベント

世界のファッションショー



ワクワク祭りの最後を飾るイベントで、毎年、大人気です。出演者の皆さん、それぞれのお国の衣装で輝いていました。今年も笑顔がとても素敵でした。



トークショー 「こんにち日本」

トークショーはワクワクまつりで、今回初めて行われたプログラムです。

「コンビニ」「日本の電車」「トイレ」について、日本語教室で学んでいる6人の方が参加しました。

自分の国との違い、日本に来て初めて経験した事など、思いがけない話が続々と出てきて会場は大笑いで大いに盛り上がり、40分があつという間に過ぎてしまいました。

「コンビニ」では全員が日本のコンビニは料金の支払い、チケットの受け取りなど色々なことができ、お弁当もおいしいのでビックリ。コンビニがないコロンビアから来たオネリスさんは自転車旅行が大好き。トイレを使わせてもらい、海外の銀行カードでも引き出せるコンビニもありとても便利とのこと。アメリカのパトリックさんは、アメリカ人はコンビニはビールやたばこ、お菓子、スルピー（甘い飲み物）をかう店と思っていると。

「日本の電車」の話題になると、中国のミャオさんベトナムのホックさんから夜遅い電車で酔っ払いがぐっすり寝ているのに、自分の降りる駅になるとパッと目がさめて降りていくのはどうして？ 優先席はどこにもあるようだが、日本人の特に若い人があまり譲らないようで不思議である。との話ができました。

「トイレ」の話に移るとますます白熱。ウクライナのオルガさん、マカオのパンさんは日本の公衆トイレが便利で綺麗であるのに驚いたとか。海外では小銭を用意していないと使えないし、公衆トイレが非常に少ないようだ。ウオシュレット（商標だが）でも、どのボタンを押したらどうなるのかさっぱりわからず順番に押した?? 話はまだまだ続きそうでしたが時間となってしまいました。（日本語教室副代表 岡野英雄）



（左から）オネリス・リコさん（コロンビア）、オルガ・ノレンコさん（ウクライナ）、苗 亜楠さん（中国）、キャロル・パン・ユーさん（マカオ）、パトリック・ラケットさん（アメリカ）、チャン・ヴァン・ホックさん（ベトナム）

カラオケ

日本語教室受講生7人が日本の歌を披露してくれました。



左から 王 洲鋒さん（中国）、チャン・キム・ホアンさん（ベトナム）、王 渝涵さん（中国）レ・ティ・ミ・ヌンさん、チャン・ティ・ホン・コックさん（ベトナム）ショ・ゾン・フィさん（シンガポール）律 芸さん（中国）

ギター演奏&ソング

ロゼス・マン・パスラチャルヤさん（ネパール）、レイナ・リゼル・マングルパンさん、リゴン・ジュリウスさん（フィリピン）の出演でした。



イベントの司会は、左から 日本語スピーチ担当の張 羲玥さん（中国）、王 洲鋒さん（中国）、その他のイベント担当のチャン・ムサ・クリスティアンさん（インドネシア）でした。



ものづくり教室

ラウンジの外国人スタッフと一緒に、フィリピンのグリーティングカード、中国の切り絵、マレーシアの小物入れを作りました。子供たちに、大人気でした。



にほんごきょうしつがくしゅうしゃ 日本語教室学習者による日本語劇
にほんごげき 日本語劇

あまの いわ と

天岩戸

恒例の、日本語学習者による日本語劇。今年は日本神話の天岩戸でした。



昔々、まだ日本という国ができる前、高天原という所で、世の中を照らす神、天照大神が弟の須佐之男命が乱暴を働くので、天岩戸の中に隠れてしまった。高天原は真っ暗になり悪い事ばかり起こるので、八百万の神々が集まって高天原に轟き渡るように笑い、天宇受賣命が楽しそう舞った。外があまりに賑やかなので天照大神が岩戸を少し開けたのを見計らって、天児屋根命が鏡を差し向け、手力雄神が怪力で岩戸を開けると、天照大神が出てきて高天原が明るくなった。



最後は、パロディーの東京音頭で盛り上がりました。



お国紹介



ニュージーランド

それぞれのお国自慢を紹介しました。



オーストラリア



ミャンマー

ミニ外国語コーナー



中国語



インドネシア語



ポルトガル語



ネパール語

来場者は、「こんにちは」などの挨拶、簡単な単語や表現を教わり、知らない国の言葉や文字に触れました。なお、これ以外に中国語（台湾）とスペイン語のコーナーもありました。

ワクワクラリー

初めての試みとして、お国紹介とミニ外国語のコーナーを体験してシールを5枚集めると小さなプレゼントがもらえる「ワクワクラリー」を実施しました。

ミニ国際交流が体験できる「ワクワクラリー」は大好評で参加者は当初の予想を上回り、急遽しおりを増刷するほどの人気でした。



ニューカマー子どもの教室



就学相談コーナー

日本語を母語としない、外国につながる子どもたちの日本での就学についての相談コーナーを開設しました。

そのほかに「日本の人気アニメとあそぼう」のコーナーでは、人気アニメの衣装試着と写真撮影、グッズの展示を行いました。

にほんごきょうしつがくしゅうしゃ
日本語教室学習者による
にほんご
日本語スピーチ

今年、11人の学習者が日本語スピーチをしました。皆さんのスピーチ内容を全部載せたいのですが、紙面の都合上、一部を割愛して掲載しています。



キム ボンジュ
金 逢柱 さん
かんこく 韓国 ソウル 出身
らいにち 来日して11か月

《日本の魅力》

私は、去年11月、日本へ来ました。その月の末から、西麻布のジンギスカンの店で働いています。

私の趣味は、旅行とおいしい料理を食べることです。だから、日本の旅行と食べ物を楽しむにしていました。最初は大阪です。大阪へは修学旅行で来ました。その後も、たびたび来ました。おいしい食べ物が、たくさんあります。たこ焼きが一番おいしかったです。

でも、私は神戸が好きです。きれいな街とハーバーで食べた神戸牛の味が最高でした。

福岡に行ったときは、湯布院温泉へ行きました。モツ鍋とホルモン焼きがおいしかったです。

札幌は、ちょうど雪まつりの時に行きました。雪の作品がきれいで、大きいのでびっくりしました。

海鮮丼と塩ラーメンもおいしかったです。特に、スープカレーの味が珍しかったです。

広島も行きました。バイト仲間のふるさとだから、案内してもらいました。安芸の宮島が一番きれいでした。

カキが入ったお好み焼きが最高でした。料理もおいしかったですし、海もきれいでしたから、広島へはもう一度行くつもりです。



日本の都市は、その街その街の魅力があります。まだまだ、行きたいところがたくさんあります。

沖縄とか、屋久島へ行きたいです。



今、働いている西麻布のジンギスカン料理のお店は、北海道で食べたジンギスカンよりおいしいです。

ぜひ、みなさん、よかったら食べに来てください。



り げんほう
李 彦豊 さん
ちゅうごく 中国 吉林省白城市 出身
らいにち 来日から2年半

《私のふるさと》

私の出身地は中国吉林省です。吉林省は中国東北三省の一つです。冬はとても寒くて、普通は-30度ぐらいです。だから日本の北海道より寒いところです。

吉林省の省都は長春市で、もとは満州国の都でした。今でもその時の建物がいっぱい残っています。吉林省の風景と言えば、代表的なのは高さ2744メートルの白頭山にある天池だと思っています。白頭山は中国と北朝鮮の境にあります。



とてもきれいな観光地です。

故郷の冬は早く来て長いです。10月から翌年の5月まで続きます。雪がいっぱい降ります。冬になると色々な祭りが盛んです。特に旧暦の春節が一番にぎやかに行われます。その日、家族と一緒にギョーザをかみながら食べます。春節が一家団欒の日だと思っています。

私は高校を卒業して中国東部の常州で働いていました。ふるさとを出てもう20年になります。先月、久しぶりに帰って、とても嬉しかったです。最近、疲れたときや寂しいとき、よくふるさとの友達や食べ物を思い出します。目を閉じるとおいしいものが浮かんできます。でも、ふるさとの酒は好きじゃありません。アルコールの度数が高いので、いつも酔っ払ってしまうからです。

今は妻と小学校2年生の子供との三人暮らしです。私は今、日本の会社で働いていますが、将来、子供が大学を卒業したら、私はふるさとへ帰ろうと思っています。牛や豚を飼い、とうもろこしや米を作る農民になりたいのです。



ド・ヴァン・リン さん
ベトナム クアンガイ州 出身
らいにち 来日して2年半

日本に来て2年半になります。私は建築関係の仕事をしています。

私は生まれたとき、約3700gの重さで、母親のおなかから大きいボールが飛び出すように産まれました。母は出産中の激しい痛みにもかかわらず、私が生まれた

時にとても幸せになりました。

私と同じ様に、ここにいる皆さんも生まれた時に母親から大きくて暖かい愛を受け取りました。このような愛は他の誰かに伝えられるときに最も美しく輝くものです。

1. 私たちが伝える愛は、小さな褒め言葉かもしれません。その小さな褒め言葉はその人の人生を変えたり、大きな励ましになることもあります。
2. 私たちの伝える愛は、ただの笑顔を通してかもしれません。笑顔は人の心をつなげることができます。私たちは人を褒める時も笑顔を用いるべきです。私たちはただそれを実践する必要があります。しかし、人を褒める言葉は心の底からでなければなりません。その言葉と気持ちが言葉だけではなく、心の底からの真実なものだと受け取られるまで何度も繰り返し心からの思いを伝える必要があります。

ここで、皆さんに笑顔と本当の褒め言葉を実践する方法を共有したいと思います。それは皆さんが本当に好きなものに注目する事です。褒め言葉は人を本当に幸せにする事があります。愛は人に伝えてこそ意味のあるものです。自分のうちにとどめていては、誰もその愛を知ることなく、何の意味もありません。人を褒めるという事は人を愛する方法の一つでもあります。



殷戦凱さん
中国 河南省 出身
来日して2年

皆さんは日本のドラマを見たことがありますか？
私は日本のドラマやアニメがとても好きです。学生の頃から、中国でみていました。今は仕事がない時に、一日中ドラマをみたり、アニメをみたりしています。日本のアニメを見て、「私も絵をかくようになりました。その中で、気に入ったドラマを紹介したいと思っています。

「1リットルの涙」というドラマです。知っていますか？ このドラマは、愛知県豊橋市に住んでいた木藤亜也さんと家族の話です。彼女は、脊髄小脳変性症という、だんだん体が動かなくなり、すぐには治らない病気になってしまいました。小さい頃は元気に遊んでいたのに、中学3年生の時に病気がわかり、25歳で亡くなりました。これを見て私は、



生きていく道が見つからなくて、希望の光も見えなくて、病気になることで、人生が変わってしまったら、とても怖いと思いました。でも亜也さんは一日一日を大切に、日記に書き残しました。そのなかに、私が気に入った言葉があります。「生きていることは、それだけで愛おしく、素晴らしい」です。「いとおいしい」という気持ちは、わたしと日本の皆さんとでは少し違うかもしれませんが、生きていくことは素晴らしいということだと思いました。

中国でも、このドラマはインターネットで広く知られています。泣いた人もいました。私も感動しました。どうぞ皆さんも一度ご覧ください。もし見たら感想を聞かせてください。



ファン・ヴァン・タンさん
ベトナム ナンディン 出身
来日して1年2か月

《幸せな生活》

毎年3月20日の世界幸福デーに国連は、世界の国の人がどのくらい幸せかを調べて、ランキングを発表しています。今年の1番はノルウェー、2番はデンマーク、3番はアイスランドでした。日本は「ほかの人のことを理解して優しくすること」の結果などが悪くて、51番でした。ベトナムは94番でした。国連は福祉、健康、自由などに関して分析して結果を出しました。国連は「最も幸せな国」のノルウェーは、国などが将来のためにお金を使っていて、政治についても問題が少ないと言っています。何と言っても幸せの概念は人によって異なります。皆さんの幸福の概念はどうですか。ゲームならルールがあって明確です。しかし、われわれ「ひと」の幸福に世界共通の基準などあるのでしょうか。幸福の基準は人によりさまざまはならず。同じ一個人でも時と場合によって違うでしょう。

けれども、自分の中で幸福の基準を持ってない人が多いと思います。毎日、生活の中で、何ができればいいのか、どう感じるかが幸せなのかがよく分からない。自分の基準がないので周りの人と比べるから、勝ち負けの発想に傾いてしまう。そうするとストレスが溜まるし、勝つより負けるほうが多くなる。

楽しみは大きなことではなくて、例えば、毎日好きなものを食べられる、高級料理ではなくても、家に近いスーパーで買う食材で自分で作るの楽しい。気持ちよく仕事に行けば幸せだ。つまり、幸せなことは我々の周りにあるのです。毎日、国際交流ラウンジで皆と話せば

楽しい。ここで色々な国の人に合わせて話せる、それはとっても良いと思います。



セーラ・サムさん
香港出身
来日して1年

《私のカラフルな生活》

私は日本に以前何度も来たことがありました。しかし日本の生活は日本の旅行と全く違いました。最初の1ヶ月日本語は全然分かりませんでした。毎日スーパーで、地下鉄で、デパートでたくさん漢字を見ました。しかし意味は分かりませんでした。横浜駅で3回も道に迷いました。とても大きい駅だからだと思います。ゴミの分け方がだし方は難しかったです。とても困りました。

少しずつ新しい友達が出来ました。毎週友達と会って一緒に日本語を勉強したり、生活の中での面白いことを話したりしました。時々図書館へ本を借りに行きます。簡単な子供の本なら理解できるようになりました。また少し日本語で日本人と話すことが出来るようになりました。よく私はテレビやインターネットで日本料理を習っています。野菜、魚、肉、果物など食べ物はとても綺麗で新鮮です。私は卵焼きと肉巻きと揚げ料理が好きです。

また新聞やテレビで日本の旅行情報を集めています。日本は綺麗でおもしろい町が多いので、時々夫と他の町へ旅行に行きます。最近鎌倉、京都、北海道の札幌と知床五湖に行きました。鎌倉と京都は有名な古い建物がたくさんありました。知床五湖は素晴らしい眺めでした。かわいい狐と鹿を見ました。旅行中時々日本語で日本人と話しました。彼らが言ったことを理解できました。とても嬉しかったです。



今年は初めてたくさんの桜を見ました。それはすばらしかったです！平塚で七夕祭りに参加しました。横浜で



花火大会を見ました。花火の形が面白かったです。三溪園で虫を見ました。ラウンジで生け花を習いました。みんな初めてで楽しかったです。

このように今私は夫と、日本でカラフルな生活を楽しんでいます。



オリバー・ニューマンさん
イギリス オックスフォード出身
来日して7か月

《まむし》

今年の夏の初め、私は新幹線で岡山に行きました。岡山駅に到着してから、バスで1時間半かけて吉備町の小さな村に向かいました。その後、ホームステイの家までサンダルで歩きました。そこは田んぼがいっぱいある、くねくねした道をスマホで地図を見ながら歩いていました。すると、すごく大きな茶色い蛇が現れて、私の足の親指に噛み付きました。いだい！だんだん、私の親指は赤くなって、腫れてきました。その時、一人だったので、助けを求めるために走らなければなりません。私は遠くには走りました。そして、やっと家を見つけましたが、二匹の大きな犬が私を追いかけました。犬に追いかけられて、私は道に迷ってしまいました。その時、私は怖かったし、痛かったです。ようやく、私はホームステイの家を見つけました。私は「蛇に噛まれました！」と叫びました。お父さんと、日本人の女の子と一緒に病院に行きました。病院で医師たちは「まむし、まむし」と話していました。でも、日本人の女の子はすごくおかしかったと笑っていたので、私は怖くありませんでした。彼女は、たくさん私の写真を撮ったり、ジョークを作ったりしました。最後に、彼女は「ちなみに、私は小雪です」と話しました。その夜、私は病院で寝なければなりません。全ての医師と看護師はおかしくて笑っていたので、私は幸せでした。次の日、ホームステイの家に戻りました。みんな親切でした。その夜、私の足はすごく痛かったです。小雪さんは私の世話をしてくれました。2週間後、私は歩けるようになりました。この夏、私は二つのことを学びました。



- ◆ 日本人はとても親切
- ◆ いつも、岡山では靴をはかないとダメ



ラハディアン・クスマさん
インドネシア バンドン出身
来日して1年半

《希望》

皆さん、誰にでも絶対にあるものをご存知ですか？それは希望です。今日私はその希望についてお話ししま

皆さんは希望や夢を持っていますか。私は世界で希望や夢を持っていない人はいないと思います。もちろん、それは一つだけではなく、いくつも持っている人もいます。そして、いつも人の命を支えています。

希望を失くすと生きていく意味を失くしてしまう人もいます。ですから希望を持つということは、生きていくということです。また、希望から夢が生まれます。夢は人生を豊かにしてくれますよね。皆さんも夢や希望があるから頑張れるということはありませんか。そして実現させるために努力しますよね。

私の希望は人生に成功して幸せになりたいということです。幸せになるのはみんなの夢ですね。どうすれば幸せになれるのか、どうすれば人生に成功するのか。

皆さん、成功した人としていない人と何が違うのか、考えたことがありますか。それは努力にあります。私は先輩に「もし成功したければ他の人よりも、もっとがんばれ」と言われました。もし運動選手なら他の選手が3回練習するところを、自分は5回練習するなど。

しかし、それでも私が勝ったとしてもその勝利は成功したと言えるでしょうか。私は成功ではなくただの勝利だと思っています。このようなやりかたでは少し不安になります。

なぜなら勝つためには自分がわがままになるので友達が離れていくでしょう。それはとても心配なことです。

勝利と成功は似ているけれど、実は全然違うと思います。成功する人は自分の希望とその目的をわかっています。それで自分の努力を認めるのです。そして自分の人生の勝利でとても幸せになることができます。

しかし、私は今まで成功の意味を間違えて考えました。成功は他の人より日々を真面目に過ごし裕福なことではなく幸せになることです。友達が家族と共に幸せに生きているのはとても幸せだと思います。どんなに金を持っていても幸せになれないなら、成功じゃありません。それは私が深く考えて出した答えです。

皆さん、どんな時でも希望を持つことを忘れないで下さい。希望を持って常に自分が成功するように頑張らしましょう。自分自身の成功は自分のためだけではなく、周りの人、そして世界中の人が幸せになれることでしょう。



スザンネ・シューベルトさん
ドイツ ミュンヘン 出身
来日して4か月

《ドイツと日本のちがうところ》

私は「ドイツと日本のちがうところ」を話します。

①はじめに「挨拶のしかた」です。

日本の挨拶は、頭をさげてから目と目を合わせます。ドイツの挨拶は、握手をするのでそのとき目をあわせません。また、ドイツでは挨拶のときにハグをしますが、日本ではしませんね。

②次は「レストランでのお金の払い方」です。

日本では食事をしたあと、レジでお金を払いますがドイツではテーブルで払います。そのとき注文を受けたウェーターに払います。そして、日本にはチップはないですが、ドイツはあります。たとえば、支払いの10パーセントくらいのチップを払います。18ユーロのときは、20ユーロをウェーターに払って「おつりは要りません」と言います。この2ユーロがチップです。ドイツでは「Trinkgeld」と言います。

③三番目は「交差点の歩き方」です。

日本では大きな街にスクランブル交差点があります。皆が色々な所から歩いてきます。でも、ドイツにはスクランブル交差点はありません。ガイドブックで読んでいましたが、渋谷のスクランブル交差点に行ったときはびっくりしました。ちょっと楽しかったです。



④四番目は「電車のチケットの買い方」です。

ドイツでは改札がありません。きっぷは自動販売機で買いますが、時々、買わない人もいます。でも電車の中に検札の人がきて見つかると、罰金をとられます。この罰金はとても高いです。日本はきっぷを買ってから改札を通ります。今はスイカやパスモがあるので私たち外国人にはとても便利です。JRや地下鉄やバスにも使えるし、東京や大阪でもスイカやパスモが使えるそうですね。

⑤最後に、

日本では人前でキスをするのはあまりないです。若いカップルは手をつないで歩いています。でも、ドイツでは人前でキスをしたり手をつなぐのは普通です。ドイツの年配の人たちは、散歩のとき手をつないで歩いています。私の日本の友達に、うらやましいと言っています。

まだまだ違うところはたくさんあると思います。ただし、日本とドイツの似ているところもたくさんあります。いつか、誰かにスピーチで紹介してもらいましょう。

皆さん、ドイツに行ったら私の話を思い出してくださいね。



レ・ヴァン・トゥオン さん
ベトナム ホーチミン 出身
来日して1年4か月

《私の夢》

私はベトナムの貧しい田舎で生まれ育ちました。家族のため、自分の未来の仕事のために一大決心をして日本に来ました。

日本に来る前に私はベトナムにある日本語学校で日本語の勉強をしました。日本に来るために日本語のほかに日本の文化も学ばなければいけないと思いました。

外国人に私は「日本語を勉強したい」と言うと、ほとんどの人が「日本語はむずかしいから大変だ」と答えました。私も日本語はむずかしいのを知っていたのでベトナムにいるとき一生懸命に勉強しました。しかし実際日本に来てから日本人の会話はぜんぜんわかりませんでした。だからびびりました。それに仕事の仲間と話していても日本人の同僚に「わからない!」と言われ、だんだんストレスがたまってきました。その時は真剣にベトナムに帰りたいと思いました。

そんな時にベトナム人の友達が日本語ボランティア教室を紹介してくれました。おかげでこの教室を知りました。以来毎週、日本語教室に通っています。日本語教室の先生方は心をこめて教えてくださいます。私はだんだん日本語が好きになってきました。だから、できるだけ教室を休みたくないです。

私の3年間の実習はあっという間で、日本での技能実習があと一年半で終わろうとしています。日本に来てから私の生き方や考え方は大きく変わりました。私には夢があります。ベトナムへ帰ったら日本にもう一度戻って、自動車について専門的に勉強したいと思っています。

人々は伝統をよく守っていて、伝統的衣装クバヤを着ている女性もよく見かけられます。

ジョクジャカルタは観光地としても有名で中でも一番有名なのは仏教寺院のポロブドール遺跡で、他にも沢山のヒンドウ教の寺院があり、日本人もたくさん旅行に来ます。まだの方はぜひ一度いらしてください。

ジョクジャカルタの海はインド洋に位置している波が高いですが、真っ白な砂浜やサンゴ礁がとてもきれいです。



伝統的な食べ物は gudeg と言い、ジャックフルーツ、ココナツミルクやジャワの黒砂糖で出来ているので甘いです。ご飯や鶏肉・卵と一緒に食べます。

私の夫も日本で働くエンジニアです。

私は2012年に慶応大学の博士課程に入學して去年3



月に終了・卒業しました。専攻は電子工学の衛星レーダーで、毎日研究室で研究しています。毎週研究発表をしなければならぬのがとても大変です。火曜日、水曜日と木曜日には千葉大学で研究者として働いています。日本が

好きだし、研究も続けたいのでしばらくは日本にいたいと思います。

研究結果を世界中に発表できるのもっともっと勉強したいし、日本のことがますます好きになっています。いろいろな経験を積んでからインドネシアへ帰りたいです、そして帰ってからも日本で得た経験を生かしたいと思っています。

将来インドネシアも日本のように科学技術の進んだ国になることを願っています。



パンチャ・デウィ・パムガサリ さん
インドネシア ジョクジャカルタ 出身
来日して6年

まず私のホームタウン・ジョクジャカルタについて少し紹介します。

ジョクジャカルタはインドネシアの南部にあり最も伝統的な町です。地名の意味は二つの意味から成り立っています。ひとつは ayogaya (平和) もう一つは kata (善い) という意味です。王様が治めていてとても豪華な宮廷に住んでいます。

よこはましこうほくこくさいこうりゅう
横浜市港北国際交流ラウンジ
KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE
〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1
Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671
E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp
ホームページ http://kohokulounge.com/

ボランティア募集
よこはましこうほくこくさいこうりゅう
横浜市港北国際交流ラウンジでは、各種ボランティアを募集しています。詳細は窓口にご問合せください。

横浜市港北国際交流ラウンジは、横浜市からの委託を受けて（特非）港北国際交流の会が運営しています。